

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第5期） 令和6年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第5期）の概要

- (1) 計画期間
令和5年度から令和9年度まで（5年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
令和9年度までに基準年度（令和3年度）から19.2%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入

2 エネルギー使用状況、温室効果ガス排出状況

エネルギー使用状況

項目	単位	令和3年度	令和6年度	
		基準年度	実績	令和3年度比
ガソリン	Kl	22.4	24.2	8.0%
灯油	Kl	113.8	125.3	10.1%
軽油	Kl	7.9	10.7	35.4%
A重油	Kl	21.6	11.6	△46.3%
液化石油ガス (LPG)	t	4.5	5.8	28.9%
都市ガス	千m ³	919.6	814.5	△11.4%
電気	千kWh	15,857.3	14,662.8	△7.5%
公用車	千km	332.9	405.2	21.7%
カーエアコン	台	74.0	78.0	5.4%
笑気ガス	kg	2.0	0.0	△100.0%

温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	令和3年度	令和6年度	
	基準年度	実績	令和3年度比
ガソリン	51.9	56.2	8.3%
灯油	283.4	312.0	10.1%
軽油	20.4	27.5	34.8%
A重油	58.4	31.4	△46.2%
液化石油ガス (LPG)	13.4	17.4	29.9%
都市ガス	2,050.7	1,816.3	△11.4%
電気	5,777.8	5,339.6	△7.6%
公用車	2.3	2.9	26.1%
カーエアコン	1.1	1.1	0%
笑気ガス	0.6	0.0	△100.0%
合計	8,260.0	7,604.4	△7.9%

※ 取組効果を正當に評価するため、基準年度の排出係数を固定して CO2排出量の算定を行っています。

※ 最新の排出係数による温室効果ガス排出量：8,300.3t-CO2（基準年度比0.5%増）

【結果】

- (1) 令和6年度温室効果ガス排出量は、令和3年度と比較し7.9%減少しました。
- (2) 温室効果ガス排出量の増減の主な理由は、次のとおりです。

【温室効果ガス排出量の増減の主な理由】

主な理由（増加）	主な理由（減少）
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和されたことから、次の要因が考えられます。</p> <p>① 灯油：小中学校で暖房のエアコン使用からストーブ使用へ変更。 ア 使用量 26,911L → 36,176L</p> <p>② 軽油：マイクロバス等の走行量が増加したため。 ア 使用量 1,036L → 2,256L イ 走行距離 5,620km → 15,826km</p> <p>③ LPG：日時計の丘公園の使用量が増加したため。（コテージ及び農家レストランで使用） ア LPG使用量 2,978kg → 4,638kg</p>	<p>① A重油：西脇病院において令和3年度に、重油の定期入替をしたため。（次回の点検は令和8年3月の予定。） ア 重油使用量 13,356L → 0L</p> <p>② 都市ガス：西脇病院において令和3年度はコロナ禍で各病棟の換気を行っており、空調設備に負担がかかっていたため。 ア 都市ガス使用量 753,869m³ → 643,701m³</p> <p>③ 電気：公共施設の統廃合及び省エネ設備への更新による。 ア 上下水道施設等の統廃合 イ LED照明への更新 道路照明（R4～） 西脇病院（R6～）</p>

3 主な取組

(1) 重点取組

- ア 効率的な施設の運営
 - 高松地区浄化センターの廃止
 - 黒田庄北部地区浄化センターの廃止
- イ 省エネルギーな設備の導入
 - 黒田庄浄化センター長寿命化工事（機器更新）
 - 西脇病院のガスコージェネレーションシステムの有効活用
 - 道路照明等のLED化

(2) その他の取組

- ア 節電対策の徹底
 - (ア) 公共施設における不使用場所の消灯（執務室・会議室）
 - (イ) 空調機器の適正な温度管理・稼働時間の短縮
 - (ウ) 定時退庁の推進（水曜日）
 - (エ) パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
- イ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ